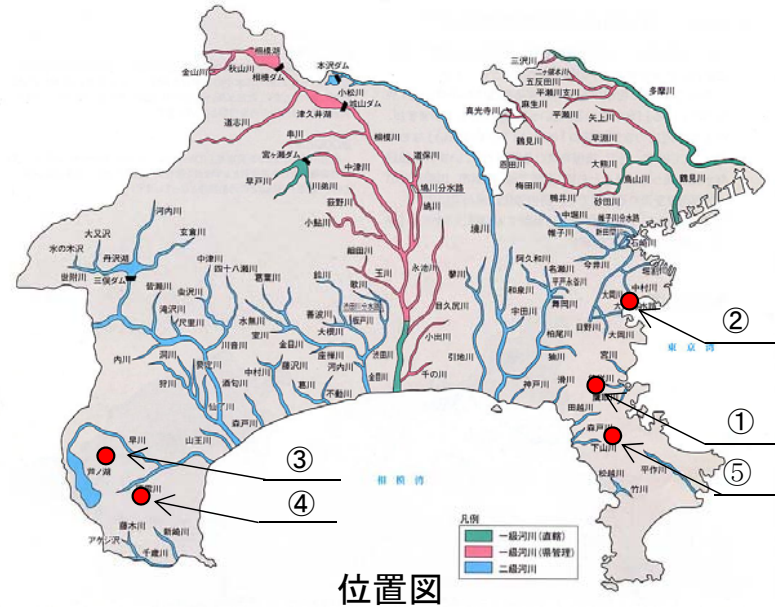


神奈川の土砂災害

～施設の効果事例と災害対応～

本県の土砂災害は、土石流災害では、県西部の箱根・丹沢地域、がけ崩れ災害では、県東部の横浜・横須賀地域で多い傾向があります。また、地すべり災害は、新第三期層の泥岩が分布する三浦半島や火山ガス等による風化作用を受ける箱根火山など限定された地域で発生します。



【土砂災害への取組み】

土石流:平成14年10月1日発災



平成20年3月完成



③箱根唐沢(箱根町箱根)

平成14年10月の台風21号により土石流が発生し、箱根新道が埋没。流出土砂量は、約4,000m³。

【対策施設の概要】

砂防堰堤2基(事業期間:H14～H19年度)
上流堰堤(透過型) H=14.5m L=73.5m
下流堰堤(不透過型) H=11.5m L=63.7m

地すべり:平成17年8月25日発災



平成19年2月完成



④大涌沢(箱根町仙石原)

平成17年8月の台風11号により地すべりが発生し、下流水路が埋没。崩壊土砂量は、約4,000m³(SL=90m,W=25m,D=3m)

【対策施設の概要】

法面工(事業期間:H17～H18年度)
連続繊維補強土工 A=1,881m²
水路工 L=168m

がけ崩れ:平成16年10月9日発災



平成18年3月完成



⑤堀内D(葉山町堀内)

平成16年10月の台風22号によりがけくずれが発生し、家屋が一部破損。崩壊土砂量は、約600m³(SL=70m,W=15m,D=0.5m)

【対策施設の概要】

法面工(事業期間:H16～H17年度)

【施設の効果事例】

がけ崩れ:平成24年3月17日発災



がけ崩れ:平成24年3月17日発災



①沼間C(逗子市沼間四丁目)

平成24年3月の大雨によりがけ崩れが発生。平成元年に施工した重力式擁壁が土砂を補足し、人家等への被害は無し。崩壊土砂量は、約5m³(SL=5m,W=10m,D=0.1m)

がけ崩れ:平成19年7月15日発災



がけ崩れ:平成19年7月15日発災



②根岸町B(横浜市中区根岸二丁目)

平成19年7月の台風4号によりがけ崩れが発生。平成4年に施工した重力式擁壁が土砂を補足し、人家等への被害は無し。崩壊土砂量は、約30m³(SL=3m,W=10m,D=1m)